

めいわ かわら版



さ か き ば ら 榎原 すず

明和苑 介護職員

社会福祉法人明和会の特別養護老人ホーム明和苑で介護職員を務める榎原すずさん。高校、大学と福祉について学び、2020年4月、ついに念願の現場で本格的に勤務を開始。介護職を志した理由、介護士一年生で得た経験、仕事への思いや目標を伺いました。

――介護職員の道を選んだ理由をお聞かせください。

きっかけは、家族からの言葉でした。高校受験を控え、進路を考えていた時に「あなたは机に向かうよりも、身体を動かすほうが向いている」と言われたのです。それに当てはまる進路を調べてみたところ、介護福祉士を育成する学校があり、卒業と同時に国家資格が取得できると知り、人生の早い段階で国家資格を得られる点に魅力を感じ、高齢者の方々とコミュニケーションも好きだったため進学を決意。

卒業後は無事、資格を取得することができました。さらに深く社会福祉分野や精神保健福祉を学ぼうと、福祉系の大学へ。在学中から「早く現場で介護に携わり、自分の知識や技術を活かしたい」との思いが膨らんでいきました。

その時、ようやく利用者様の状況を自分に投影して考えられるようになったのです。

――今後の目標をお聞かせください。

先輩のやり方をしっかりと見習う、それが目標です。皆さん、利用者様をよく観察していて、いつも座っている場所に座布団を用意したり、手をぶつけやすい場所にスポンジを入れたり、快適に過ごせるよう細やかな気遣いを欠かしません。私も利用者様の目線に立った考え方を身につけたいと思っています。

若さみなぎる榎原さんの活躍は、まだまだ始まったばかり。これから誠心誠意仕事に向き合い、多くのことを吸収していくことでしょう。



――就職先として明和会を選んだ理由を教えてください。

明和会を知ったきっかけは、大学教授からの紹介です。高齢者施設だけではなく、障がい者施設、保育施設など、幅広い領域で運営している法人だと聞いて興味を抱き、見学に訪れました。そこでまず惹かれたのは、職員の方々の優しく明るい雰囲気です。また職員の皆さんが利用者様ときちんと向き合っていて、心のゆとりすら感じられる。自分もそんな施設で働いてみたいと思いました。

――実際に入職してみて、印象はいかがでしたか。

当時と変わりません。それは働き始めてすぐに実感しました。4月1日の出勤初日、私は到着後30分ほどで体調を崩し、早退してしまったのです。実は、以前から大きなプレッシャーには弱く、身体的にも不調になることがありました。その日は出勤という緊張に加え「皆さんにご挨拶をしなければ」というプレッシャーが重なり、不調に至ってしまいました。その翌月にも同様になってしまいました。すぐにどなたかが気づいて優しく対処してくださって。突然仕事に穴を開け、周囲にご迷惑をかけた自分の不甲斐なさに落ち込みました。それでも、私を責めることなく見守ってくださった主任の方々をはじめ、先輩職員の皆さんには深く感謝しています。人に恵まれているという実感が安心につながり、今は不調に陥ることなく勤務を続けられています。

――働く中で学んだこと、教訓としてある経験はありますか。

私が介護している利用者様は、認知症を患っている方々です。同じこ



<企業情報>
社会福祉法人明和会
■法人認可：1966年11月
■事業活動収入：22億円
※2020年6月時点
■問い合わせ先：0538-42-3228

拠点紹介

あきは寮

あきは寮
寮長

すぎはら ひであき
杉原 秀昭さん



今回は、あきは寮の寮長である杉原さんにお話を聞きました。43年目を迎えるあきは寮の強みや心に残っているエピソードなどがたくさん詰まっています！

主な業務とメンバー構成について

職員は、農作業や室内作業、入浴等生活全般の支援を行ないます。利用者の方々が生活をしている施設であるため、仕事は24時間体制です。あきは寮のまわりには東京ドーム4個分の広大な畑があります。農作業や園芸作業、足腰の機能維持のための散歩などに、その敷地を利用しています。また、室内では、一般企業からの作業を請け負うことも。職員はエンパワメントを心がけて、利用者の方々の力を引き出せるようお手伝いをしています。現場での支援を行なう職員は40名弱です。その他に、サービス管理責任者や送迎などを行なう職員を合わせて、約50名の職員で構成されています。それに対して、入所している方は80名、自宅から通っている方を含めると日中100名を超える方々が活動しています。

強み

農業をできるのは、あきは寮の強みであると思います。静岡県内を見ても、これだけの敷地をもっているところはそう多くありません。また、春は桜が満開となり、四季を感じられる環境で、季節に合った行事をしています（ひな祭りや花火、BBQ、クリスマス会、忘年会、新年会など……）。イベントの準備は、基本的に職員が行ないますが、企画内容は利用者の方々の意見を尊重するよう心がけています。コロナ禍での行事は、強みである広い敷地を活かしながら、少人数で行なうなどの工夫を施しています。



思い出のエピソード

私は農作業をするグループを担当していた時、皆で一緒に汗をかき、できた野菜や卵を販売していました。購入した方が喜ぶ姿を見てやりがいを感じ、皆で一緒に喜びあったことは、とても良い思い出です。農作業を通し、誰かに喜んでもらえることの楽しさ、さらに社会との関わりもきちんと感じてもらいたいと考えています。現在は、あきは寮で作ったものが小学校の給食に使われています。

寮長としての仕事のやりがい

コロナ禍でも職員全員の力で利用者の安心する生活を提供できていることと、まじめな職員も多く、皆の成長した姿が見られることがやりがいです。その力が、これからの職場を支えています。心強く思えるような職員がどんどん育ってくれと願っています。

今後の目標

どんどん若い職員が増えて、次の世代にバトンタッチできるような形で繋いでいけるように精進します。プライベートでは、またラグビーを観に行けたらいいなと思っています。



かげやま ちなつ
影山 千夏さん

趣味

友人と旅行をすることです。特に期限は決めていませんが、47都道府県を回れたらと話しています。まだ13ほどしか行けていませんが……。

入社のきっかけ、志望動機

施設を持っている法人を探していて、見学した際の雰囲気になじめました。高齢など多くの分野があることも魅力に感じ、職員さんと利用者さんの会話が長く、人の温かさを感じて入社を決めました。

現在の仕事内容

利用者さんの生活支援と、利用者さんが行っている内職の最終確認をしています。

工夫していること

介護ではないので、利用者さんができることはできるだけ自分でやらせようとしています。手助けはしなければいけませんが、やりすぎると利用者さんのためにもならない。どこまで自分が手伝うか、考えながら作業しています。

今後の目標

1年目なので、利用者さんとコミュニケーションもとっていますが、先輩方と比べればまだまだ。利用者さんの性格をそれぞれ聞いて、おとなしい方や対応が難しい方にも話しかけ、1歩踏み込んで信頼関係を築いていきたいと思っています。

スタッフ紹介

今回はあきは寮で働く影山さんと八谷さんをご紹介します！
2020年4月に入社されたお二人の入社のきっかけや今後の目標とは？

休日の過ごし方

演劇鑑賞が好きです。学生時代に脚本や衣装も全てオリジナルで演劇をしたことがきっかけでハマりました。小さな劇団の作品が好きです。

入社のきっかけ、志望動機

実は地元の短大で幼児教育について学び、保育士になる予定でした。実習であきは寮を訪れた時に、素敵な職員の方がいて。保育園とは異なる支援の方法になじめ、一緒に働きたいという気持ちが芽生えました。様々な利用者さんに向き合った姿勢が魅力的だったのだと思います。

現在の仕事内容

意思疎通がうまくできない利用者さんを担当しています。トイレや歩行が難しい方が多いため、生活面でサポートすることがほとんどです。最近は寒いですが、利用者

さんは「寒い」と意思疎通をすることが難しいので、体調に合わせて調節をします。細かな部分が難しいと感じますが、やりがいでもあります。

工夫していること

毎日の生活を楽しむために、レクリエーションを取り入れています。絵本の読み聞かせを行ったり、音楽を流して楽器を持ってもらったり。音楽が好きな利用者さんが多いので、笑顔が見られたときには私も嬉しい気持ちになります。

今後の目標

細やかな部分まで利用者さんが過ごやすく、楽しめる環境が作れる支援者になりたいと思います。周りの先輩方がいろいろな所に気づく、尊敬する方ばかりなので、盗める技術がないか、周りの人に聞きながら身につけていきます！



はちや さりな
八谷 咲里奈さん